

(単元) 心情を読み味わう (物語と日記『伊勢物語』東下り)

(本時のねらい)

これまでの「読むこと」の学習で、生徒は本文の内容を的確に理解する能力を身に付けてきた。

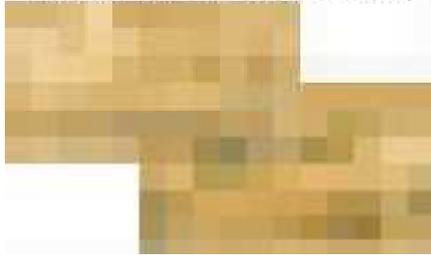
この題材「東下り」は歌物語であり、軸となっているのは都への郷愁や恋しい人へ向けた想いである。「宇津の山」や「富士の山」などの自然の風景や、旅先で出会った人との会話で感情揺さぶられる主人公の心情を捉えることによって、古典をより身近なものにする契機としたいと考えて設定した。

ICTを活用し、該当箇所の絵巻物や関連する写真などを投影することにより、古典の風景を視覚的に受けとめ情景を思い描くことができるように努めたい。

(ICT活用方法)

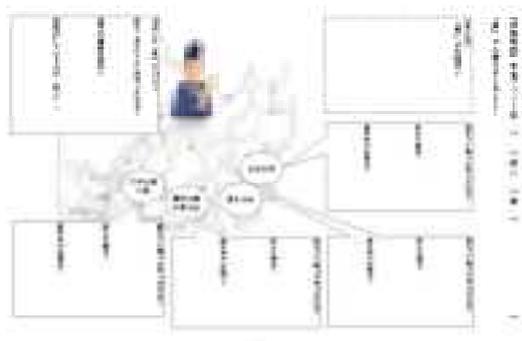
本文に描かれた和歌の心情を理解するために、電子黒板を用いて各場面の情景を提示する。従来は教科書や国語便覧に掲載された挿絵を示すのみだったが、地の文に描かれた風景や本文中に登場する動植物を表示することにより、和歌が詠まれた背景まで想像を膨らませることができるように工夫した。

(ICT活用方法)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法	備考
導入 5分	・前時の振り返りをし、今回の授業の目的を把握する。	・授業の目標を意識させる。	・前時までの学習内容を電子黒板に映し出して振り返りをすると共に、今回の授業の目的を提示して印象づける。	
展開 30分	1 ワークシートを見ながらグループの意見をまとめる。  ・和歌や地の文を参考にし、主人公の心情をワークシートに記入する。	・机間指導をし、円滑なグループ活動となるよう促す。	 <p>情景を思い浮かべながら考えてみよう</p> <p>・各場面の情景を映し出ししながら、和歌が詠まれた背景を考えさせる。</p>	

	<p>2 ワークシートを完成する。</p> <p>・旅の行程を参考に、本文を通して描かれてる主人公の心情をまとめる。</p>	<p>・共通点を意識させ、本文を通して描かれてる心情をまとめさせる。</p>	<p>・地図を用いて登場人物の移動ルートを示し、旅の道筋を理解させる。</p> 	
<p>まとめ 5分</p>	<p>・本時の学習内容を振り返る。</p>	<p>・次時への意識付けをさせる。</p>		

(授業の様子)



使用したワークシート

板書とICT

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

物語に関係する地図や絵巻物を大きく投影して指し示すことによって、生徒たちは視覚的に内容を理解することができたようだった。ワークシートそのものを映し出すことによって、授業の進行を全体で共有することもできた。その一方で、投影している場面が変わると以前の内容をすぐに確認することができず、生徒たちが戸惑っているように感じることもあった。

今後は従来通り黒板に記す内容と電子黒板に投影する内容を精選・熟考することで、生徒たちが登場人物の心情について理解したことを自らの言葉で文章化し発表することができるような表現力の育成に努めたい。